



システム理工学部に 「グリーンエレクトロニクス工学科 (仮称)」を新設

梶川 嘉延 (1993年修了 工学研究科)
(理工学研究科長・システム理工学部長・教授)

関西大学システム理工学部では、地球環境に優しい次世代技術の創出と、カーボンニュートラル社会の実現を担う人材の育成を目指し、2026年4月に「グリーンエレクトロニクス工学科 (仮称・設置構想中)」を新設する構想が進められています。

「グリーンエレクトロニクス」とは、半導体や電子回路に代表されるエレクトロニクス技術に、環境への配慮という視点を加えた新たな学際的分野です。脱炭素化を推進するグリーントランスフォーメーション(GX)に不可欠な分野として、国内外から注目を集めています。同学科では、半導体デバイスの材料物性から、アナログ・デジタル回路、精密な計測・制御技術、AIと融合する情報処理技術までを体系的に学ぶことができます。こうした高度な知識をもとに、低消費電力・低環境負荷なエレクトロニクス機器の開発を通じて、持続可能な未来社会の構築に貢献できる力を育成します。

カリキュラムは、「半導体デバイス物性」「装置・加工・計測・制御」「アナログ/デジタル集積回路」「数値計算・情報」の4分野に分類され、基礎から応用まで幅広く網羅した教育が展開されます。講義のみならず、PBL (Project-Based Learning) や企業との連携による実習プログラムを通じて、実践的かつ創造的な課題解決能力を培う点も大きな特色です。

教育・研究活動は、千里山キャンパス第4学舎に整備されている最先端の施設群で実施され、特に新設されるグリーンルームを活用した実験・実習科目で、

半導体プロセスの基礎からナノスケールの応用技術までを実地に体得することが可能です。学科定員は62名と少人数制を採用し、学生一人ひとりに対するきめ細かな指導を重視しています。

卒業後の進路としては、ファブレスやファウンドリをはじめとする半導体関連産業、電気機器・電子部品メーカー、IT・AI分野、製造業、さらにはGX推進に関わる官公庁・コンサルティング分野など、多岐にわたる活躍が見込まれています。経済産業省によれば、GX関連分野では2035年までに約200万人の人材が不足するとされており、同学科の設置はその人材需給ギャップを埋める社会的意義も担っています。

「グリーンエレクトロニクス工学科」は、理論と実践、ハードとソフト、そしてエレクトロニクスと環境との融合を通じて、新しい価値を創造するエンジニアを育成する中核拠点となることが期待されています。是非、新学科に大きな関心と期待を持っていただくとともに、さまざまなご支援を賜れば幸いです。

詳細は以下の学科紹介ページをご覧ください：
https://www.kansai-u.ac.jp/Fc_sci/department/ge/index.html

※関西大学博修士会総会・学術講演会が2025.9.28(日)に関西大学千里山キャンパス、第4学舎4号館4101教室で開催予定です。システム理工学部新学科(仮称)に関する梶川嘉延教授のご講演を、是非お聞き下さい。また、講演後の懇親会にも是非ご参加下さい。(会場:下記ケーブルコード)

Welcome to CAPE COD!

(ケーブルコード)

1982年創業の最古の歴史を刻むカフェレストラン 85席の広くて重厚な店内
テイクアウトや自家製
ケーキやソフトクリーム。
メニュー有 定休日:月曜日。
電話: 06-6380-8890。
場所: 吹田市千里山東 1-10-4。
<https://kandaimae-capecod.com/>



《博修士会広告》

「第3回院生合同学術研究ポスター発表大会2024」の記録保存版(DVD)を20部作成しました。発表内容が全て分かります。希望者は博修士会にお問い合わせ下さい。また、写真と記事から会報やチラシのPDF原稿作成(1ページ7,500円)の手助けをします。

